



2024年12月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア シ ロ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 山 博 登  
(コード番号：7378 東証グロース)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 長 阪 昭 寿  
[ir@asiro.co.jp](mailto:ir@asiro.co.jp)

通期連結業績予想と実績値との差異及び配当予想の再修正（増配）並びに個別決算における特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催しました取締役会において、下記の通り2024年9月13日に公表いたしました2024年10月期（2023年11月1日～2024年10月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び配当予想の再修正（増配）並びに個別決算における特別損失（減損損失）の計上について決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、剰余金の配当については、2024年12月23日開催予定の取締役会の決議を経たうえで確定する見込みです。また、個別決算における特別損失（減損損失）の計上については、連結業績に与える影響はありません。

記

1. 2024年10月期連結業績予想と実績の差異（2023年11月1日～2024年10月31日）

(1) 業績予想と実績値の差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,523	244	236	31	43	5.88
実績値 (B)	4,798	329	319	128	142	19.62
増減額 (B-A)	275	85	82	97	100	
増減率 (%)	6.1	34.7	34.9	315.6	233.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年10月期)	3,198	53	43	△38	△12	

(2) 通期連結業績予想と実績値の差異の理由

当社の主要事業であるメディア事業（リーガルメディア事業及び派生メディア事業で構成）が想定以上に好調に進捗し、HR事業においても体制整備が進んだため、2024年9月13日付開示「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」にて公表した修正予算を大幅に上回ることとなりました。

また、当社は2023年10月期から2025年10月期の3ヵ年中期経営計画を策定し、2023年10月

期及び2024年10月期は中長期的な成長のための投資期間と位置付け、積極的な投資を行っていましたが、2024年10月期の下期から徐々に投資の抑制等を行い、準備が整ったため、3ヵ年中期経営計画策定時の予定通り、2025年10月期は利益を創出する期と位置付けております。

## 2. 配当予想の再修正（増配）について

### （1）内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2024年9月30日発表)	0円00銭	22円84銭	22円84銭
今回修正予想		24円18銭	24円18銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2023年10月期)	0円00銭	13円61銭	13円61銭

### （2）配当予想の再修正の理由

上述の通り、当社は2024年10月期を積極的な投資期間と位置付けておりますが、あくまで意図的な投資により利益水準が低くなること、また当社は元より安定した財務基盤を有しており「成長と還元」を両立することが特徴であると考えております。この考えから、売上収益から当社の通常時の営業利益目線である営業利益率20%、株主還元方針である配当性向30%をベースに理論的に算出した数値から算出しておりました。2024年9月30日付開示「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にて公表した数値も上記と同様の理論で算出しており、2024年9月13日付開示「通期業績予想の上方修正に関するお知らせ」で公表の通り、業績が上振れる見込みであったことから増配としておりましたが、これらの予想も上回る結果であることから、さらに同様の理論にて再度算出したものであります。今後も株主還元を重視しながら、成長も両立していく方針です。

## 3. 個別決算における特別損失の内容

当社の連結子会社である株式会社ヒトタスの財政状態を勘案し、2024年10月期の個別決算において、当社の保有する同社株式につき73百万円の減損損失を特別損失として計上することといたしました。なお、個別決算につきましては日本基準を適用しております。

また、上記の特別損失は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上